

第2回地域政策懇談会（海部地区） 意見交換の概要

平成25年6月12日（水）午後2時30分～4時

愛西市佐織公民館 3階 研修室

（津島市 鈴木勝美副市長）

- ・ 少子高齢化が進む中、地域の活力をどうやって維持していくのかが課題である。
- ・ 市民病院を中心に、市民協働で、健康なまちづくりを進めていきたい。その一つとして、市民病院に在宅患者の急変に対応できるバックアップ病床を設けたいので、県の支援をお願いしたい。
- ・ 名古屋津島線の整備を引き続き進めていただきたい。

（愛西市 日永貴章市長）

- ・ 海拔ゼロメートル地域における災害時の避難については、広域的に考えていく必要があるので、県で考え方をまとめていただき、一緒になって防災・減災の方向性を見出していきたい。また、木曾川・日光川の堤防整備・堤防強化に目を向けていただきたい。
- ・ 愛西市では、今後、企業誘致に力を入れていきたいと考えているので、県には後方支援をお願いしたい。
- ・ 幹線道路について、強固なインフラ整備を国や県とともに進めていきたいと考えているので、よろしく願います。

（弥富市 服部彰文市長）

- ・ 金魚のまち弥富としては、名古屋港水族館など様々な施設を利用してPRをしていきたいと考えている。県の協力をよろしく願います。
- ・ 鍋田二期・大神場のたん水防除事業を早期に進めてほしい。
- ・ 西部臨海工業地帯の背後地への企業誘致について、県のご協力をお願いしたい。
- ・ 名古屋第3環状線は、愛知県のみならず、中部圏の中でも、港とつながる大変重要な路線であるので、早期整備をお願いしたい。
- ・ 先般、子ども医療の問題について、従来の保障を継続する方針を示していただき、大変ありがたく思っている。今後とも、福祉医療をはじめ、少子高齢社会における県の役割を期待する。
- ・ 交通安全対策として、信号機や道路標識・標示の整備に格段の援助をお願いしたい。

（大治町 岩本好広町長）

- ・ 防災道路という視点からも、名古屋津島線の早期完成をお願いしたい。
- ・ リニア中央新幹線開通に向けたインフラ整備として、道路とともに、地下鉄の延伸も含めて考えていただきたい。
- ・ 海部地域には、歴史財産が多くあるので、これを地域として活用していきたいと

考えている。

(蟹江町 横江淳一町長)

- ・ 海部地区にとっては、海拔ゼロメートル地域の防災対策が一番必要である。
- ・ 海部地区には、東西軸が弱いという共通の問題があるので、お力添えをお願いしたい。蟹江町としては、町道の東郊線を県道に昇格をしていただき、整備をお願いしたい。
- ・ 蟹江町の温泉を使って、温泉リハビリを含めた健康タウンづくりをしようという話がある。これに観光をプラスして、知事のマニフェストにある温泉リハビリ施設と介護施設を備えた複合福祉タウン構想に入れていただければと思っている。
- ・ 日光川流域下水道事業について、調整区域がなかなか進んでおらず、地域によって進捗状況に差がある。今後ともお力添えをお願いしたい。

(飛島村 久野時男村長)

- ・ 日光川水閘門の整備が着々と進んでいることには感謝する。これに続き、日光川右岸堤の整備をお願いしたい。
- ・ 国道 302 号の 4 車線化と名古屋環状 2 号線の飛島ジャンクションから名古屋西ジャンクションまでの整備について、港をつなぐ物流の拠点の道路であり、今後ともお力添えをお願いしたい。
- ・ 知事の仲介により、豊根村と災害時における相互応援協定を締結できたことにお礼を申し上げる。

(津島商工会議所 寺田晏章会頭)

- ・ 津島の産業については、繊維産業が廃れた後、基幹産業が見当たっていない。
- ・ 工場の誘致や工場用地の拡幅をしようとしても、農地や調整区域の問題など、土地の線引き問題が大きなハードルとなる。そのため、産業政策としては、津島の川祭り、秋祭り、藤まつりなどを活かした観光産業に取り組んでいる。江南の藤まつりとの連携や、地元のレンコンなどを使った商品の開発などに取り組んでいる。
- ・ 若い世代の人づくりに力を入れる必要があると考えている。津島商工会議所では、4 年ほど前から創業塾を開催しており、盛況である。
- ・ 三次以下の下請けしかない津島の商工業は、前途多難である。いろいろお知恵をいただきたい。

(あま市商工会 伊藤孝文会長)

- ・ あま市では、商店がどんどんなくなっている。私たちにできることは、地元のイベントや市とのタイアップによって、まちおこしに少しでも力添えすることくらいである。自分の代で終わりだという店を少しでもなくしていくことが私たちの務めだと思っている。今後とも、お力添えをお願い申し上げる。

(大治町商工会 高取律男会長)

- ・ 狭い町域に大型スーパー、コンビニエンスストアが多く出店し、地元商店にとっては厳しい経営環境である。また、商業・工業を問わず、後継者不足が深刻であり、高齢等による廃業が多くなっているのが現状である。
- ・ 無担保・無保証の経営改善貸付の申込みなど、商工会では会員企業の資金需要に対応しているが、政府の経済政策などが小規模企業者まで浸透するには、まだまだ時間がかかると思う。
- ・ 現在、商工会青年部の有志が中心となり、行政と生産者の協力を得て、大治町の特産品である赤しそを使ったワインやジャムの開発を進めている。今後とも、行政と連携して、少しでも元気な大治町を PR していきたいと思っているので、よろしく願います。

(愛西市商工会 青山幹雄会長)

- ・ 工業団地の誘致について、県には、農地を守る課と工業用地を作る課があるが、どちらを優先するのか調整する課を作っていただきたい。
- ・ 海部地域は、これまで農政を中心としてきたので、市街化区域がなく、工業団地を作る場所がない。
- ・ 尾西から津島にわたった地域は、昔から繊維が盛んな街であったが、高齢化が進み、その後の発展も遅れている。高齢者に対する福祉も大事だが、子どもを産まなければ経済は動かない。

(蟹江町商工会 山田謹一会長)

- ・ 蟹江町は商業者が非常に多いという特徴がある。蟹江のまちを大きくするには、商業の活性化しかないという思いで商工会活動をしている。
- ・ 蟹江町は、土地が狭く、農業者を保護しないと、土地が商業へ回ってこない。そのためには、農業生産や農業活性化への指導など農業者が安心して続けられるような配慮をお願いしたい。

(弥富市商工会 細江利夫会長)

- ・ 弥富市は、南部に航空産業が立地し、また、港湾を控え、物流拠点も多く、工業の方は非常に元気がある。一方、商業の方は元気がなくなっており、商業者と工業者でかなり差が出てきている。
- ・ トレーラーが、名古屋港から名古屋市や小牧市へ移動するには、国道 302 号と西尾張中央道の 2 本しかなく、非常に渋滞している。産業に関する道路は積極的に整備をお願いしたい。

(飛島村商工会 吉田重俊会長)

- ・ 農地法の厳しい規制により、背後地への企業立地がうまく進まない。県として、対応をご検討いただき、協力をお願いしたい。

- ・ 国道 302 号の整備を進めていただいているところであるが、スピードを少し早めていただきたい。
- ・ あいち認証材を積極的に利用していただくようご配慮いただきたい。
- ・ 飛島村商工会では、国道 23 号線を境にして、名古屋商工会議所に加入している事業者が多いため、組織率が伸びていかない事情がある。県の補助金交付にあたっては、県から商工会組織率の向上が求められるが、配慮いただけないか。

(大村知事)

- ・ 全国的にも、小児科の救急体制が厳しい状況にある。愛知県では医療関係者の皆さんの頑張りで何とか回っているが、いわゆる小児救急のコンビニ受診の問題もある。負担とサービスをどうバランスをとっていかか考えていかなければならないと思っている。
- ・ 6月議会では、交通安全対策として、道路標示の整備のための予算を 8,000 万円計上した。県内の緊急を要する箇所から整備を進めていきたい。
- ・ 海部地域は、名古屋の近郊で、名古屋港もあり、愛知の有数の農業地帯でもあり、住宅地帯であり、歴史も文化も、産業もある地域である。皆様のご意見をしっかりと受け止めて、今後のビジョンづくりに活かしていきたい。